

# 安芸高田市公共施設等総合管理計画 個別計画

## (1) 公共施設 ⑧博物館等（博物館）編

平成 29 年 3 月

 広島県安芸高田市

### 【担当課】

危機管理課 財産管理課 政策企画課 環境生活課 人権多文化共生推進課  
社会福祉課 子育て支援課 高齢者福祉課 保健医療課 地域営農課 農林水  
産課 商工観光課 管理課 住宅政策課 建設課 上下水道課 消防総務課  
教育総務課 生涯学習課

## 目 次

1 個別計画策定の趣旨及び概要	1
(1) 策定の趣旨	1
(2) 概要	1
2 施設別財産状況	2
3 各種分析結果	3
(1) 利用状況	3
(2) 施設管理コストの状況	3
(3) 施設配置状況	4
4 施設について	5
(1) 施設の役割	5
(2) 現状と課題	5
(3) 今後の施設の考え方	6
5 再編検討結果	7

# 1 個別計画策定の趣旨及び概要

## (1) 策定の趣旨

安芸高田市が有している公共建築物やインフラ資産は、今後において大量に更新時期を迎えます。厳しい財政状況や人口減少等による利用需要の変化等がある中、公共建築物やインフラ資産の長期的視点による更新統廃合等を計画的に実施し、財政負担の平準化と施設の最適な配置を行う必要があります。安芸高田市は第2次総合計画及び第3次行政改革大綱と連動した施設面の基本的取組を示すため、平成26年度に「安芸高田市公共施設等総合管理計画（以下、「管理計画」という。）」を策定しました。管理計画の公共建築物管理基本方針による博物館施設の再編については、中・長期的に取り組む必要があることから、個別計画を策定しました。

## (2) 概要

- 本計画は、管理計画「第4章 1. 公共建築物管理基本方針 (8) 博物館等（人権会館・地区集会所を含む）」の方針に基づき、施設のあり方について検討した結果を具体的に示したものです。

• 博物館等は、歴史民俗博物館及び八千代の丘美術館に集約し、類似施設は廃止します。

- 本計画の実施期間は、管理計画の計画期間に合わせた平成47年度までとします。
- 今後の計画推進については、行財政改革の事項として取り組むことから本市行財政改革実施組織においてその進行管理を行うとともに、計画の改定や目標の見直しを行います。

計画名	H26	H27	→	H47
管理計画	➡			
個別計画		➡		
【行革】進行管理		➡		

## 2 施設別財産状況

No	施設名称	所在地	運営 形態 ※1	建築 年次 (年)	経過 年数 (年)	耐用年数 (年) ※2	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	安芸高田市歴史民俗博物館	吉田町吉田 278 番地 1	指定	H02	24	50	RC造	938.62	資料保管庫（H21 年 建築/R造含む）
2	八千代の丘美術館	八千代町勝田 494 番地 7	直営	H12	14	24	木造	1,800.00	展示施設 1 棟（330 ㎡）、工房施設（98 ㎡） 15 棟
3	土師ダム記念公園民俗資料館	八千代町土師大迫 1178 番 1	指定	S47	47	50	RC造	312.30	土師ダム周辺施設の 一部として指定管理 委託されている

※1 運営形態の「指定」は指定管理を表しています。

※2 耐用年数は、財務省令「減価償却資産の耐用年数に関する省令」を用い記載したもので、使用可能期間を示すものではありません

### 3 各種分析結果

#### (1) 利用状況（延べ利用人数）

施設名	H24	H25	H26	備考
安芸高田市歴史民俗博物館	7,828 人	8,802 人	9,010 人	
八千代の丘美術館	6,802 人	4,701 人	5,534 人	
土師ダム記念公園民俗資料館	35 人	38 人	19 人	有料来館者

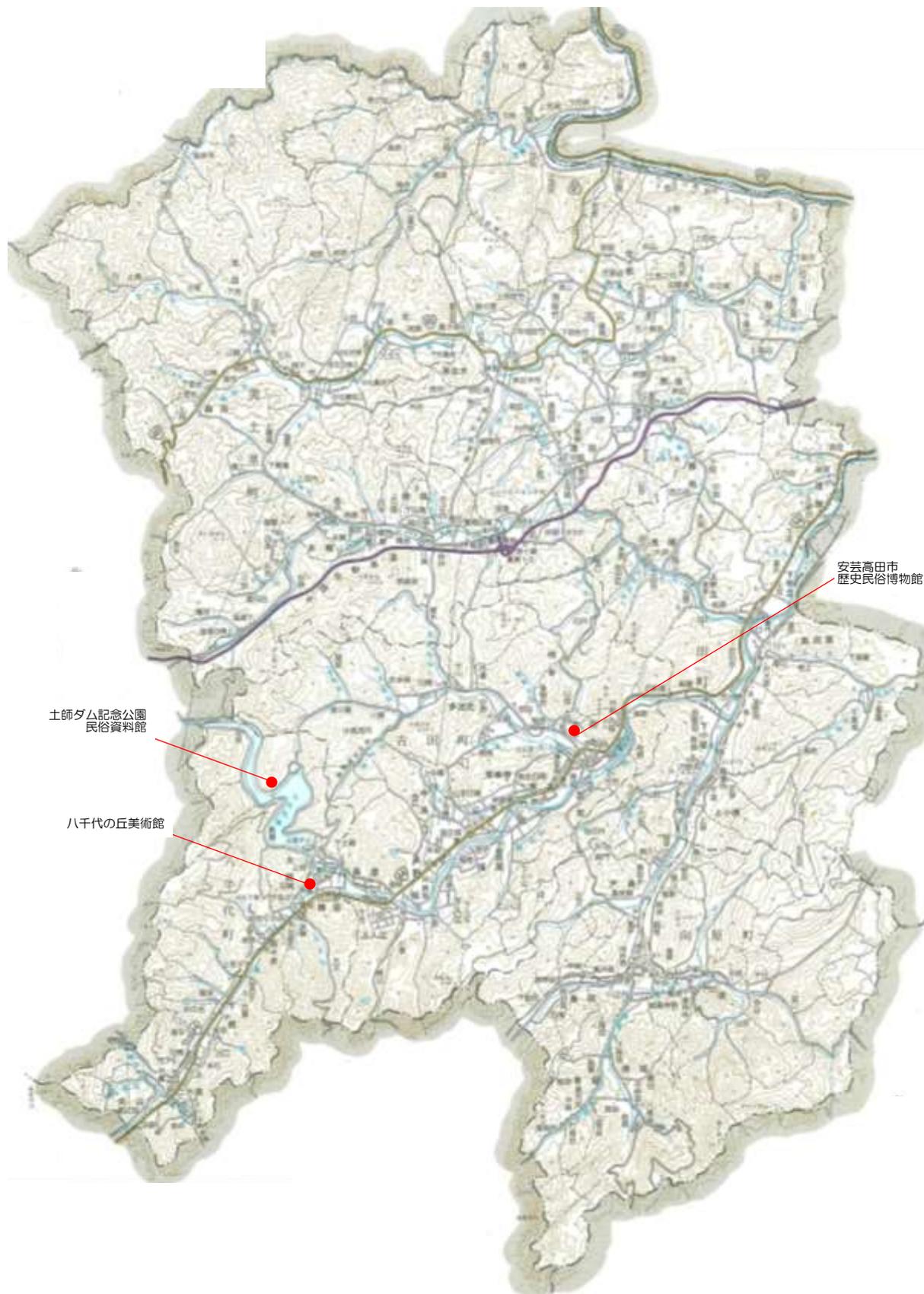
#### (2) 施設管理コストの状況

※平成 26 年度管理費と利用人数により算出

施設名	管理運営費と 総延床面積 1 ㎡当たりのコ スト (円)	管理運営費と 利用者 1 人当たりの コスト (円)	備考
安芸高田市歴史民俗博物館	20,170 円	2,102 円	
八千代の丘美術館	13,260 円	2,308 円	
土師ダム記念公園民俗資料館	270 円	2,100 円	

### (3) 施設配置状況

本編で対象としている施設の配置状況を示しています。



## 4 施設について

### (1) 施設の役割

#### ①安芸高田市歴史民俗博物館

安芸高田市歴史民俗博物館は、国史跡郡山城跡の麓に位置し、戦国の知将毛利元就に関する中世期の資料に特徴を持つ。安芸高田市の地域の歴史遺産の収集を図るとともに、調査研究を行い、その保存、そして展示等により活用を図り、市民の歴史的知識及び文化的教養の向上に資するとともに、市民の郷土愛の醸成に寄与している本市唯一の歴史民俗博物館です。また、郡山城跡の麓に所在することから、全国から歴史家、そして、近年では歴女等多数訪れる観光スポットとしての側面も合わせ持った施設です。

#### ②八千代の丘美術館

建設当初は、同敷地内に整備されている農園と合わせ「芸術農園 四季の里」の芸術施設「八千代の丘美術館」として整備されました。センターギャラリー棟と、15棟のアトリエ棟で構成され、入館作家によるアトリエ棟での展示活動が、当館の常設展示という、県内でも類を觀ない特異な美術館として知られています。市内唯一の美術館として、美術作品の収集を図るとともに、保存及び展示し、市民に鑑賞機会を提供することにより、美術に対する意識・創作意欲の向上を図り、市民の文化的な生活の構築に寄与しています。また、安芸高田市の玄関口でもあることから、市外からも多くの来館者を得ており、安芸高田市観光スポット的要素も併せ持っています。

#### ③土師ダム記念公園資料館

昭和49年に完成した土師ダムの建設に伴い、移転した土師地区の農家の農具や遺蹟の保存を目的に整備され、ダム湖に沈む以前の土師地区の様子を伺い知ることのできる資料館として、利用に供しています。

### (2) 現状と課題

#### ①安芸高田市歴史民俗博物館

平成22年に、博物館登録を行い名称も歴史民俗博物館に変更しました。また、平成23年には、第2、第3展示室を整備し、機能向上を図っています。利用状況につ

いても近年、企画展等の運営努力や「歴女ブーム」も加わり、増加してきています。

課題としては、市全体の歴史民俗博物館として、常設展のリニューアルが必要であること。そして、館内の収蔵庫が手狭であるため、各町の民具資料を、甲田支所、高宮支所に収蔵しており、日常的な管理・運用が難しい状況にあることです。また、施設については、近年、空調設備の大規模改修を行っており、現状で、大きな課題は無いものの、建設後 25 年が経過しており、今後徐々に修繕等の頻度が高まることが想定されます。

## ②八千代の丘美術館

開館後 14 年を経過し、主に県内の作家を中心に入館作家を選定しているため、年々入館作家の集客性も下がり入館者数も減少傾向にあります。構成建屋 16 棟全てが、木造平屋であり、建設後 14 年も経過していることから、白蟻の被害や、ドアの歪等修繕頻度が高くなってきています。また、空調設備についても老朽化による修繕や更新が目立ってきています。

## ③土師ダム記念公園資料館

建設後 47 年を経過しており、施設の老朽化に伴い、修繕等による多額の投資が必要となる見込みです。また、無人施設で、入館希望時のみ、開館しているため、日常的管理がなされず、保全も困難となっており、来館数も減少の一途をたどっています。資料館として公開展示施設というよりは、収蔵庫に保存展示している状態です。

### (3) 今後の施設の考え方

管理計画「第 4 章 1. 公共建築物管理基本方針 (8) 博物館等(人権会館・地区集会所を含む)の方針に基づき、安芸高田市歴史民俗博物及び八千代の丘美術館は、今後も継続して維持管理を進めながら、適切な改修を行い、長寿命化を図るとともに、維持管理経費の削減に向けて検討を進めていきます。また、土師ダム記念公園資料館は、地元との協議を進め、合意形成を図りながら、資料の移転にも相当額の費用が発生することから、主目的を土師民具等資料の収蔵庫としての活用を検討します。

## 5 再編検討結果

施設名	方針	スケジュール						備考
		H28	H29	H30	H31	H37 まで	H47 まで	
安芸高田市歴史民俗博物館	継続	調査	→	計画	実施	→	→	規模・機能の適正化、長寿命化
八千代の丘美術館	継続	調査	→	計画	実施	→	→	規模・機能の適正化、長寿命化
土師ダム記念公園資料館	廃止	検討	→	協議	収蔵 展示	→		収蔵資料の保存が課題

※1 方針の「継続」は規模・機能の適正化を行いつつ大規模改修及び更新を行い継続維持する施設を、「廃止」は廃止する施設を表します。

※4 スケジュールの「調査」は施設現況調査実施を、「計画」は施設現状調査結果を踏まえた長寿命化等の計画策定を、「検討」はあり方の検討開始を、「協議」は地元との協議による合意形成を、「廃止」は施設廃止を表します。